

\*前期比：D I・季節調整済

景況

今期の業況判断DI値は-51と前期の予想DI値を17ポイント上回り、実績に比べると7ポイント改善する結果となりましたが、売上、収益、資金繰りはともに後退しました。

来期の予想業況判断DI値は-36と今期より15ポイント改善すると予想しており、売上、収益、資金繰りとも改善すると予想しています。

調査員のコメント

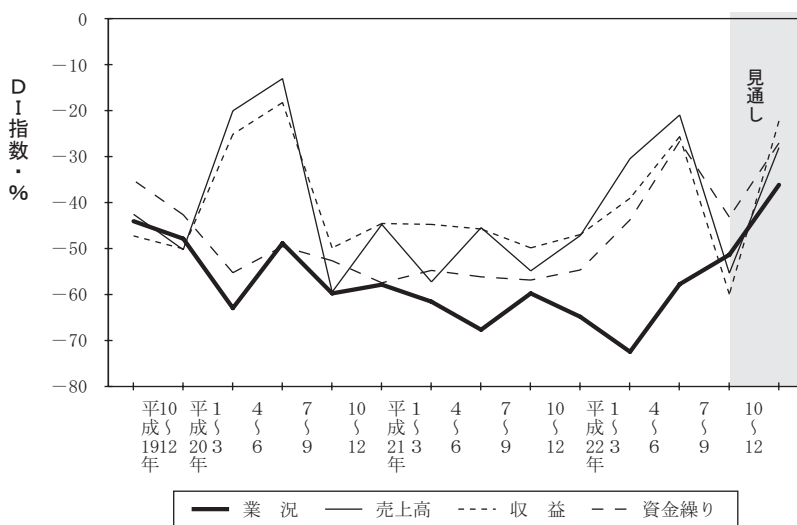
■業界全体として動きが鈍く、利益確保は困難である。また人員少なく営業不足である。

(不動産代理・仲介業)

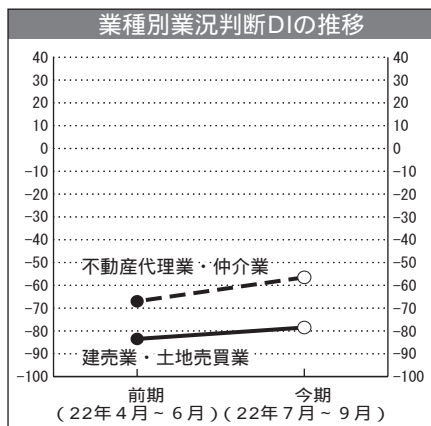
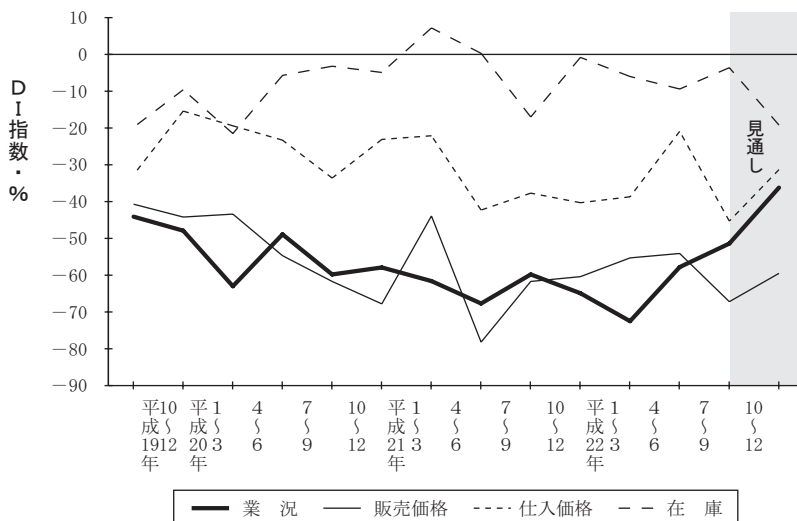
■不動産の動きは依然として鈍いが、宅地販売が若干上向いている。

(建売業・土地売買業)

景況の推移



主な指標の動き



順位	問題点	社数 (%)
1位	売上の停滞・減少(1)	17社 (85%)
2位	利幅の縮小(2)	15社 (75%)
3位	同業者間の競争の激化(3)	8社 (40%)

順位	施策	社数 (%)
1位	情報力を強化する(1)	12社 (60%)
2位	経費を節減する(1)	11社 (55%)
3位	宣伝・広告を強化する(3)	10社 (50%)

\*( )は前回順位 \*対象企業総数は20社

残業、人手、設備状況

